

株主・投資家の皆様へ

LINTEC

WAVE

リンテックウエーブ

*Linking
your
dreams*

SEPTEMBER 2023

92

● 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長
社長執行役員

服部 真

第130期
(2024年3月期)
第1四半期
決算情報

証券コード：7966



いしづちさん

石鎚山 (1,982m、愛媛県)

株主・投資家の皆様とまだ見ぬ高みを目指すという想いを込め、今年度の当誌では日本百名山の風景を表紙としています。

目次

2 連結業績推移

3 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長
社長執行役員

服部 真

4 トピックス

5 2023年度 新聞広告シリーズ

6 決算情報

8 セグメント情報

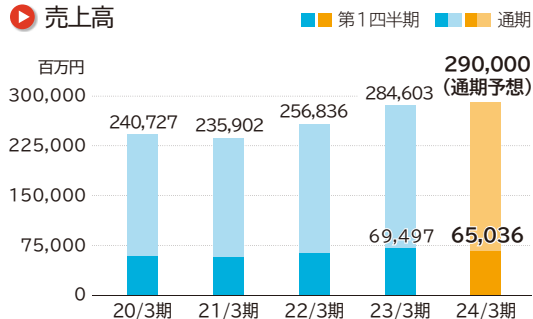
11 株式情報

(免責事項)

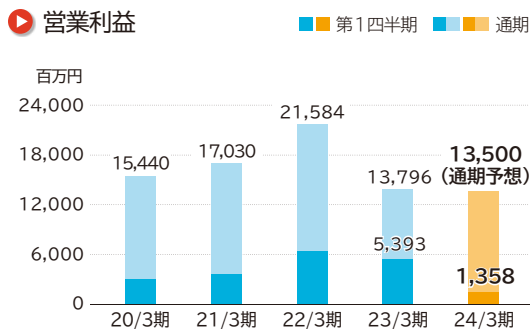
業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

連結業績推移

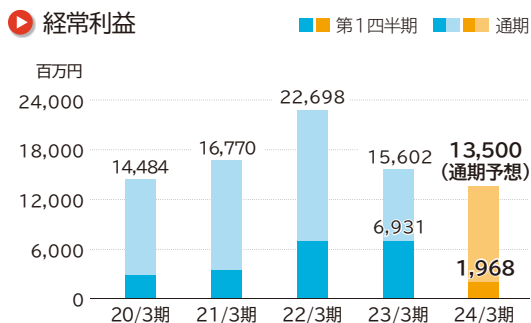
売上高



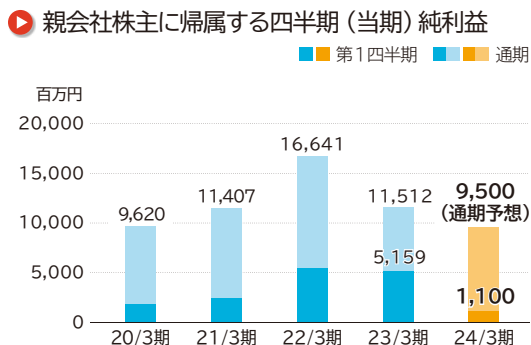
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



株主・投資家の皆様へ

▶ 2024年3月期第1四半期連結累計期間(前年同期比)

売上高

65,036百万円 (6.4%減)

営業利益

1,358百万円 (74.8%減)

経常利益

1,968百万円 (71.6%減)

親会社株主に帰属する四半期純利益

1,100百万円 (78.7%減)



代表取締役社長
社長執行役員 **服部 真**
はっとり まこと

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの2024年3月期第1四半期連結累計期間の業績につきましては、価格改定や円安による押し上げ効果があったものの、原燃料価格や物流費のさらなる上昇に加えて、電子・光学関連製品が市場低迷の影響を大きく受けたことにより販売数量が大幅に減少し、他の製品についても国内や米国において受注減少による生産設備の稼働率低下に伴う操業損失が増加するなどした結果、減収減益となりました。

今後につきましては、原燃料調達コストの高止まりやエレクトロニクス関連市場の回復の遅れなど、当社グループを取り巻く事業環境は極めて厳しい状況が続くと予想されます。引き続き徹底的なコスト削減や

収益性の向上、価格改定に取り組んでいくほか、次期3か年中期経営計画「LSV 2030 - Stage 2」(2024年4月~2027年3月)のスタートに向けて、成長事業の生産能力増強や研究開発力強化のための積極的な投資、事業ポートフォリオの最適化の検討など、さらなる飛躍を目指し、さまざまな施策を講じてまいります。

株主・投資家の皆様には引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

▶ 2024年3月期 連結業績予想(前期比)

売上高	2,900億円 (1.9%増)
営業利益	135億円 (2.1%減)
経常利益	135億円 (13.5%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	95億円 (17.5%減)

カナダのシール・ラベル用粘着製品の裁断加工・販売事業を買収

今年5月、当社子会社のマックタック・カナダ社が、シール・ラベル用粘着製品の裁断加工と販売を手がけるラベルサプライ社(カナダ・オンタリオ州)の事業並びに関連資産を約70億円で買収しました。これによりカナダ市場での販売拡大に加え、シール・ラベル用粘着製品の製造子会社であるマックタック・アメリカ社の生産量増加や原価低減といったグループ内での相乗効果が見込まれます。今後も、安定成長が期待される北米市場での販売と収益性の向上を図っていきます。



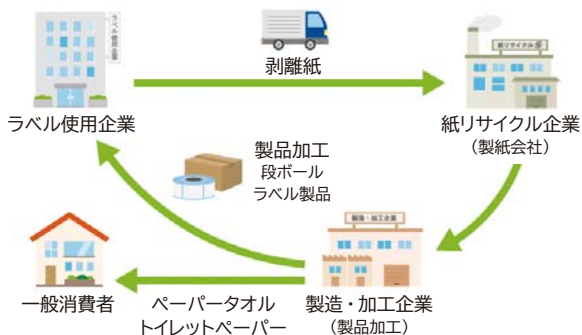
買収事業および関連資産の概要

事業内容: シール・ラベル用粘着製品などの加工・販売
 純資産: 455百万円(2022年2月末)
 総資産: 1,984百万円(2022年2月末)
 売上高: 6,315百万円(2022年2月期)
 当期純利益: 439百万円(2022年2月期)

使用済み剥離紙のリサイクル促進に向け、ラベル循環協会に参画

当社はシール・ラベル用粘着製品の粘着剤面を保護する剥離紙の回収・リサイクル体制の構築に向け、関連企業と共にラベル循環協会(J-ECOL*)を設立し、これに参画しました。国内で年間約11万トン発生する使用済み剥離紙は製紙原料として利用可能な資源でありながら、体制面や技術面などの問題からこれまで有効活用されてきませんでした。「J-ECOL」は使用済み剥離紙の回収システムと再生処理技術の構築・確立に取り組み、再生資源化を目指していきます。

循環リサイクルモデル構築



*J-ECOL: Japan Earth Conscious Labeling Associationの略。2022年6月から(株)サトー、王子タック(株)、大阪シーリング印刷(株)、リンテック(株)の4社が中心となって設立準備を進め、今年5月に一般社団法人として設立